

気を付けて！年末年始の事故

年末から年始にかけて、大掃除中のケガ、暖房用品による着火、餅などの窒息による事故が多くなります。特にシニア世代の事故が起きやすい傾向があり、注意が必要です。

大掃除中の事故に注意しましょう！

東京消防庁管内の大掃除中の事故による救急搬送件数は、年間では12月が圧倒的に多く、年代別では60代と70代だけで全体の4割以上を占めています※1。

- ・掃除機を持ちながら、階段を掃除していてバランスを崩し、階段を踏み外した。
- ・浴槽のふちに乗り、天井を掃除中に足を滑らせ、転落した。

両手がふさがる状況はバランスを崩し、転落の危険性が高まります。普段よりも慎重に行動しましょう。高所作業をする場合は、安定した踏み台を使用し、片手で固定されたものにつかまるなど、転落、転倒を防止する工夫をしましょう。

暖房用品は正しく使いましょう！

暖房用品のうち、電気ストーブ、石油ストーブで「ケガをした」「引火、発火、発煙した」「ケガをしそうになった」経験が多くなっています。

特に電気ストーブによる火災が多く発生しています。

- ・電気ストーブをつけたまま寝てしまい、布団に着火した。
- ・石油ストーブの火を消さずに給油し、引火した。

布団や洗濯物などの可燃物は、ストーブの熱源から決められた距離を離して使用するなど、取扱説明書をよく読んで、正しく使用しましょう。



餅など食品の窒息事故に注意しましょう！

食品の窒息、誤飲は、65歳以上の高齢者で多く発生しています。餅などをのどに詰まらせ救急搬送された件数は、12月と1月だけで年間全体の半数を超えています※2

- ・きなこ餅を一口で食べた父親が喉に詰まらせ、家族が背中をたたいて取り出した。
- ・ご飯をたくさん口に放り込んで飲み込めず呼吸ができず、パニックになった。

窒息は死亡事故につながります。食品は小さく切る、急がずゆっくりよくかんで飲み込む、食事の際はお茶や水を飲んで喉を湿らせるなど、窒息事故を防ぎましょう。

特に一人で食事する場合は十分注意しましょう。

(出典)東京消防庁「日常生活における事故情報」

※1 <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/topics/201512/cleaning.html>

※2 http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/topics/stop/old_03.pdf

「年末年始の事故防止ガイド」では、事故防止のポイントを分かりやすくまとめています。詳しい内容はHPをご覧ください

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/hiyarihat/nenmatsu.html>

